

日刊 磐城時報

編輯部：平野町三丁目
印刷部：平野町三丁目
電話：二二二
代印部：平野町三丁目
電話：二二二
電話：二二二
電話：二二二

漁業開發記念日

東久邇第二師團長官御視察の 光榮を永遠に録する爲め

豊間村會決議

豊間村では六日村會を召集鈴木發祥氏と名付け産業開發に關する村會一致の協議會を開く事
村長から
舊臘二十三日東久邇第二師團
長官殿下下産業御視察の途
次御親しく同村海産業の實狀
並に益谷岬燈臺御視察の光榮
に浴すを得たが、此の日を永
遠に記念するため記念日を設
定したい
と提議満場一致光榮の記念日制
定を可決したが、同村では従後
十二月二十三日を以て漁業開

縣下刑事史上に 空前の快記録樹立

平署昨年度の送致件數 遂に九百件を突破す

縣下刑事史上に空前の快記録を
縣下最高記録平署の七百五十件
破すべく送致九百件を目標とし
て全署員を總動員して犯罪檢舉
に死者狂ひの活動を續けて来た
平署は遂に此の宿望達せられ昨
年度の總送致數實に九百十一件
本縣は勿論東北地方刑事事件の
送致最高記録を遂に突破するの
驚異的成績を示した、此れを前
年度の六百五十四件に比較すれ
ば二百五十七件の大増加從來の

殺人、強盜、傷害等の平地方
特有とも稱すべき兇惡な犯罪
が非常に減少してゐるが此れ
は豫防警察の充實に依ると同
時に地方民に犯罪防止思想の
普及された結果でせう」と語
つてゐた。

四倉出初式

六日舉行す

四倉消防組では去る六日午前六
時より出初式を舉行したが根本
より出初式を舉行したが根本

立退請求訴訟の 第一回口頭辯論

愈々来る二十九日と決定

(既報)平町當局が町有地處分の立退請求の訴訟を提起するに至
る必要上前町會に於て田町大通
り舊平陽女學校跡現平マキケツ
の立退請求訴訟提起案を提案
野崎氏等の反對あつたが結局十
二月二十日まで訴訟提起を留保
するを條件として満場一致で訴
訟提起を決議借受人たる酒井平
陽校長に對する交渉の一切を舉
げて土木委員會に委任したので
其の後酒井氏側と土木委員會側
に數次の交渉を續けられて来た

退職給與金の 増額を要望

平町役場吏員が町當局に

平町役場吏員の互助機關親和會
では十三日午後一時から會議室
に於ける吏員給與金も遂に現在
の平町に於けるよりも高額の
今や市制實現さへも見んとす
る大平町の規定としては余り
にも幼稚極まるもの、殊に吏
員も少額の給與金では老後の
不安を感ずる事少くない、
この理由によるもので、青沼町
所は五月それ、着工目下縣工

内郷村火防督勵

内郷村消防組では七日午前八時
から佐藤組頭以下小頭、伍長總
出動で全村の防火獎勵、かまご
検査を執行する。

小川江着工

川江筋水利組合では三日午前十
時から平町團體事務所樓上に臨
時常任委員會を開き水利改良工
事の總工費十萬四千圓中八年度
分割當四萬四千圓その他につき
協議をなした結果七日から着工
協賛をなした結果七日から着工

失戀の青年が 福住旅館で猫自殺

大野村字山田傳之助四男木村武平
夫(二二)は八日午前七時半頃平
町福住旅館二階で猫イラズ
を嚙下覺悟の自殺を企て苦悶中
を女中が発見驚いて平署に急
報武夫を共濟病院に昇送込み應
急加療中であるが生命危篤、原
因は目下調査中であるが失戀の
結果らしい。

尚武の春

平署武道始
今日午前八時

川崎藥局開業

四倉仲町古市壽平氏は一昨年東
京明治藥學を優等で卒業し其の
後慶應大學病院藥局に奉職して
ゐたが此の程郷里仲町に川崎藥
局を開業した。

根本副組頭辭職

内郷村消防組副組頭根本保吉氏
は病氣の爲め退職したが後任は
小頭最古參の野木力の呼聲高い
結果らしい。

ダイナマイト爆發

坑夫一名慘死
昨日王城炭礦の椿事

落盤即死

入山選炭婦

投書歡迎

和歌、俳句、戯曲、其の他各種寄稿投書を
歡迎します。

縣工事竣成

平土木監
入山炭礦採炭婦ヒサ(三九)は六
日午後三時頃入山貯炭場で作業
中落盤の爲め下敷となり即死し
所は五月それ、着工目下縣工

坑夫一名慘死

昨日王城炭礦の椿事

落盤即死

入山選炭婦

投書歡迎

和歌、俳句、戯曲、其の他各種寄稿投書を
歡迎します。

縣工事竣成

平土木監
入山炭礦採炭婦ヒサ(三九)は六
日午後三時頃入山貯炭場で作業
中落盤の爲め下敷となり即死し
所は五月それ、着工目下縣工

坑夫一名慘死

昨日王城炭礦の椿事

落盤即死

入山選炭婦

元旦だ (投書歓迎)

駢けるー人生 (上) 山崎生

鳥は惶惶として天空を飛翔し 兎は匆匆として地を廻る中に 九三三年は清算されて茲に一九三四年の所謂新春でふ工作が又 復一ツ加へられたのである。 大晦日と元旦との境界、大晦日の元日に早變りするのは幾分の時間であるか、一分の六十秒の一秒のその又何十分の一分の真に一瞬の推移である。 従つて事半つて新年と云ふも 舊年の延長に過ぎない、舊年はその前年の延長で、前年はその又前年の延長であつたことには間違いないのである。そして新年の最初は一體全体何年前か、今より一九三四年前か否かは信仰觀念より出發したるキリスト降誕を基準にして勝手に決めた中途端なデモの初めであつてその前がある。紀元前四千年位のレナードはあるさうだが、その又前がある筈だ、前の前の前が無ければならぬ筈だ。 新年の抑もの最初は何万年か何億年かこれは數學の大家でも計算は出来まい、最初の新年即ち第一番目の新年は昔、昔の大昔敷いきれない大昔し、出發の太古よりの存在である、今年一九三四年の次に來るのは一九三五年でふ來年だ、この來年でふもの、最後の來年が又判らない、來年の一番最後は今より何萬年の後か何億萬年の後かそれは新年の最初を計算出来ない、等しく何年経つても最後の來年には達しない、遂に終りはない、未來、無限である來年の最後も新年の最初と同じく永劫無限の存在であらう。 時は實に永劫無限であるかと思ふは間違いだ、永劫無限には時はない、時の存在は永劫無限

ではない、永劫無限は空だ、空の空なるもので決して時間の存在は許さない空間である、空間であるから最初がない、最初がないから最後もないのだ、極まり切つたことだ。 實に時間の束縛の無い空間にノンビリと太古の静けさの中に原始的の夢を食はりつつゐられる別の人生に、如何に智識の木の實が美味であつたとは云へ鳴呼なる哉 三千年の昔バビロンの天文學者の遺骸は遂に小うるさい計りが七面倒臭さい時間てふものを勝手に極めたのであつた。

煉炭 菊地商店 石城郡平町字大町

土管 製造元 武田製陶所 内郷村御厩

蒸電 製造元 菊地靴靴店 平町四丁目

川崎藥局 明治藥學士 古市壽平 四倉仲町 電話百十七番

藥局開業 處方調劑 川崎藥局

夜 陽性 胃腸病科 花柳病科 泌尿器病科 皮膚病科 肛門病科 門專 院醫科 性胃腸 村松 (番七〇一電 町南町平) 療 間

磐城名産 御土産用 干やなぎ いか鹽辛・鯉鹽辛・鯉節 平町土橋 鈴藏魚店 電話六二二番

洋式宴會の仕出し 五人様以上の御注文にはボーイもコンクも出張しまして 弊店へ御來店御會食と何等かわりなくサービスいたします。 出前は迅速 平常の一品料理の出前は遠近にかへはらず迅速に御届けいたします。 美味で 評判の サロン 主 森川泰一郎 電話三五二番

完全燃焼のため煙筒掃除の要なき 日本一の フクロクストーブ 御申越し次第カタク持參御伺ひ致します 平町五丁目 釜屋商店 電話九番 阿部石炭商店 電話三七番

無硫酸 不凍 泡沫 強力 貳億萬圓消火器 福島縣一手特約店 泉屋 大嶺商店 假事務所 平町銀冶町二九 電話五〇三番

體溫計の検査日です 10日 検査機 新設 お宅の體溫計は? 正確な體溫計を御使用下さい 毎月十日の検査日御利用下さい 西村屋藥局 電話三番

支那そば なべ焼 配達迅速 平町字四丁目 電話三七三番

謹啓妻キヨ俄に心臓麻痺を以て一月七日午後一時死亡 養父慶次郎は十數年中風症の處十二月月中旬より心臓の衰弱加はり終に一月八日午前九時死亡仕り候此段謹告 仕り候 永年格別の御交誼御指導を賜はり候段厚く御禮申上候 追而葬儀は途中葬例を廢し一月九日午前十時より午後一時迄九品寺に於て同時に告別式相營み同寺墓地に埋葬可仕候 尚其だ午勝手時節柄造花、放鳥等の御供物は御辭退申上候 昭和九年一月八日 平町三丁目 總親 代 草三 野 長 虎 總友 代 小 永 柴 山 野 伊 和 德 佐 總店 代 小 永 野 山 貢 小 元店 代 永 山 貢 平次 平 勇 治 平 二 吉 雄